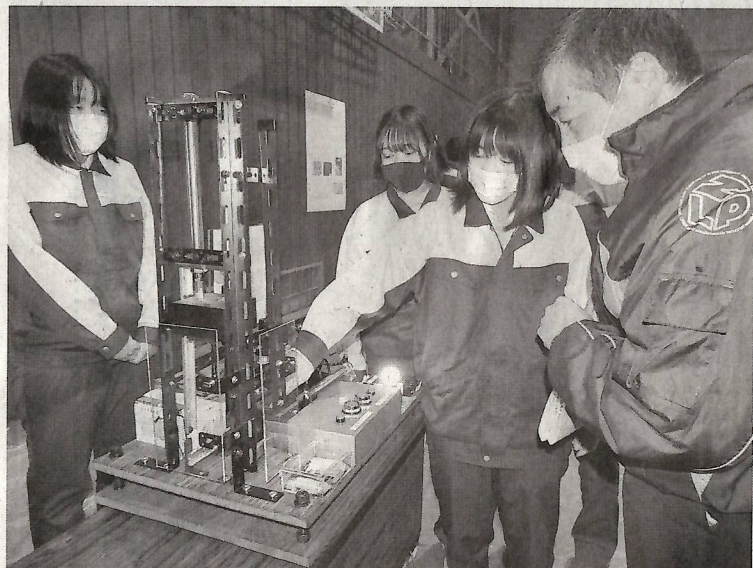




自動で点字を打つ点字機を製作し、来場者に説明する駒ヶ根工業高の3年生

3年生はグループごと、自って研究。計28グループ・個分たちで企画したテーマに沿って、人が、設計や制御といった、

駒ヶ根市の駒ヶ根工業高校で19日、年間通して課題研究に取り組んできた3年生による研究成果発表会が行われた。代表6グループが登壇し、自動で点字を打つ点字機や倒立二輪ロボットなど、独創性に富んだ研究成果を披露した。(寺田英祥)

独創性に富んだ研究成果

6グループ 点字機、ロボットなど披露

駒工3年発表会

ものづくりのプロセスを体験したり、調査研究に取り組んだりした。この日は校舎内に作品などを展示し、来場者に見学してもらった。

メイン会場の体育館では、機械、電気、情報技術の3学科からそれぞれ選出された計6グループがステージ発表をした。溶接などの技術を駆使してピザ窯を製作したグループや、災害時に避難勧告を無人でできるよう、ドローンにスピーカーを取り付けて性能を試したグループなどがあった。

電気科のグループは、圧縮空気エネルギーを動力に制御技術を活用して、自動で名刺に点字を打つ点字機を製作。社会福祉施設に寄贈したい

と、自分たちで一から作り上げたが、動力不足などから思うような効果が残せなかったことを課題に挙げた。リーダーの唐澤菜智さん(18)は「試行錯誤しながら作り上げることで、貴重な経験になりました」と話した。

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

1月20日(水)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2021